

東雁来児童会館 地域交流事業【2022年度】

《会館内で実施》

かりたま文化展（全2回・毎回4～5日間展示）	2回	1,200名
東区多世代交流事業「お笑いで学ぶ東区とHIGASHIKUホットキープ大会」 （コロナ感染拡大により直前に中止。50名参加予定だった。）		
かりたまフィーバー ちょい祭り	1回	183名

状況

久しぶりに開催した会館のお祭りでは地域の方に多く手伝っていただき世代間交流を図ることができた。また、昨年度に引き続き開催した文化展では保護者や地域の方などに出品いただいた。次年度は、継続的な実施と多くの地域の方の出席・来場を目標とし、児童会館に対する理解を深めたい。

《地域に児童が出かけて実施》

ちょびボラ隊（地域のごみ拾い活動など）	10回	55名

状況

地域のごみ拾いなどを行うボランティアサークルの活動で近隣公園や町内会に出かけた。またその活動報告誌を地域に配布し、地域貢献活動のPRを行うことができた。今年度は町内会会長が活動に参加したり、近隣の高校からは次年度清掃活動の共催要請があり、徐々にその活動の成果が見られるようになってきた。

《日常活動での交流、地域支援》

地域町内会の町内会役員会・会議を東雁来児童会館で実施	3回	42名
地域町内会の町内会総会を東雁来児童会館で実施	1回	36名
町内会主催事業「防災教室」実施	1回	29名
小学校のお父さんの会会議	1回	20名
札幌東豊高等学校インターンシップ受け入れ	1回	16名

状況

近隣の2つの町内会が会議や総会などで使用があった。また町内会の会長を含むお父さんの会の会議が2年ぶりに再開されるなど徐々に地域支援の場として戻りつつある。町内会総会や防災教室には館長も参加し、地域ネットワーク構築の足掛かりとなった。また、近隣高校のインターンシップ受け入れを実施し小学生とのふれあいの時間を持つことができた。その後のお祭り事業にも高校生がボランティア参加にし継続的な事業展開を図ることができた。